

(刊夕日十)

平新報

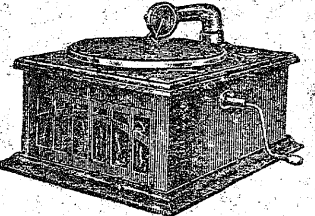
休刊大祭祝日毎日
定價 一紙二錢 壹月三十錢
廣告料 雜報欄五十錢 增刊部
發行所 市島館三
編輯部 市島館三
印刷部 市島館三
發行所 平新報社

秋窓漫録

家の周囲に樹木を植るの必要あるは、恰も人の身に衣服をまはさるべからざるが如し、此れ外観の美と實用との二ツを兼ねが故なり、塙邊の二桐は獨り秋を報づるに止まらず、又よく残暑の斜陽を遮るべし、庭前の喬木は夏夜空しく、涼月を懸くるのみにあらずして、家を撲たんとする、風雨の勢を挫き、塙際に植込みし、椎、檜の梢は、徒らに、蟬聲鳥語を聞くが爲のみにあらず、街路の塵埃の家に入るを防ぐに、宜しきは言を俟たず、外より観て家屋の周囲に樹木の配置の欠くべからざるは、恰も書工の、山を描きて、雲を添へ、水に石を點じ、河に舟を配するに異ならず、然り而して家屋の形状に従ひ、此に配合すべき、樹木を揮ふべきなり。

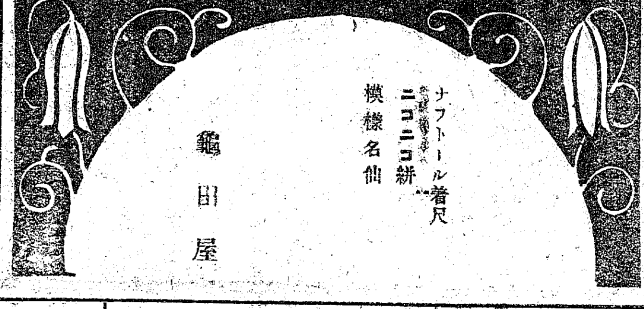
赤き煉瓦造の家に、梅の古木など、植えたるは、耳かしの西洋髪に、ツゲの柳をさし、襟付の唐淺に、飛模様の羽織を着たるが如し、ハイカラの服装には、自らハイカラの好みあるは、言ふに及ばず、されば洋風の外の手廣き庭の隅などに、家の戸口に、バラの柵を鬱蒼として、生ひ茂りたる作り、窓にムベツタなど這はしむるは、誰が見ても本物の竹植えて、其幹を植木さわりし見ゆるべし、シロ屋に磨かせるなど、月並宗匠の好みらしく厭味あり。

園中の草木は、珍異なるを好むべからず、又奇現なる木を植ゆるべからず、只廣敷なる、園には花果冬青樹等を植え、以て四時の推し移りを観るべし、又藥草を交へて、其名を知り、其花を玩ぶべし、却て植物は密ならず、疎ならずを主とし、甚だ疎なれば、陽氣乏しく、甚だ密なれば、陰氣深し、故に其中をさるべし、果樹とヤク草とは庭に植て、樂み殊に深し、柿は霜葉の、紅なをも亦賞すべし、枇杷は不吉の木なりとて、忌む人もあれど、ハツ手の外は、花なき冬に、花をつくるが故に捨てがたし、栗無花果、いづれも裏庭の破れたる垣のほごり、又は難小屋置小屋の傍などに植えてよし市中の古き家にはよく土藏の前の中庭などに葡萄の棚を作り借家の庭に鳳仙花、日向葵、白粉花など價安き、草花を影しく植むるは、なまなか怪なる、竹は山の手の崖また、郊石黒木などにて作りたる庭



此はレコード蓄音機也 (呈進録目) 也圓五十三價定

十月新譜レコード到着
ヴァイオリン 三圓五十錢
マンドリン 六圓五十錢
ハルモニカ 二十五錢より
大正琴 一圓二十錢より
チクオンキの御用は是非レコードの専門の店へ和洋楽器 二丁目
盤城特約 代理店 三幸堂 電話(呼)六四九



亀田屋 模倣名仙

右募集ス
月給五十圓以下給す
平町田町 宇佐美藥局 電話五五一番

平町研町
矢吹醫院
電話二一六六番

おいしい和洋パンは
開花亭
平町五丁目

福島縣平町
鹽屋
山崎合名會社
電話 營業部 一〇番 醸造工場 二七番

平町南町
根本產科醫院
電話三四番

皆様弊店には
秋冬の品が豊富に取揃へましたから、お客本位の大廉價主義のヨドヤ雜貨店に是非御用命を!!!
平町三丁目

小田炭礦株式會社
社長 萩原申八

造花製造販賣
金成造花店
平播植小路

本日より牛肉大賣出し
牛豚肉 深谷肉店
電話五二四番 前

新式で
ハイカラ向實用向のカバン
福山靴店へ
平町二丁目 播植小路役場前

平町二丁目
鶴屋旅館
電話一二二番

正金會
電話一二二番

今回左記の處に開業致しました
一、朝は早くも七時半より
夜はおそくも九時まで
一、日曜日、祭日は午前中だけにして頂きます。
●標語●
一、火事と蟲歯は小さい内に、早期數十錢の治療は、後の數圓、金齒にまさる。

佐川齒科醫院
從六位 齒科醫學士 佐川 涉
平町田郵便局裏(元横内醫院跡)

趣味と實益
愛らしき小鳥類の御用命は是非
ベニヤ小鳥店
優良種を安價に提供致します。
特選餌料.....飼鳥用具.....附屬一切
平町田町大通り(電話六三九番平出)

白井遠平翁逝く

東北が生んだ偉人

本縣農工銀行頭取白井博之氏嚴父白井遠平翁は豫て東京市本郷區上富士前町の邸で療養中であつたが昨九日午後四時遂に逝去した享年八十二歳儀は東京に於て告別式を執行遺骸は平町の自邸に歸葬する筈

翁は平藩の儒者神林復所門下の高材として山顔十五歳夙も名主代勤に選まれて以來その壯年時に於て縣會成立後殆ど毎期の縣會議員として將又郡宰として縦横の經綸を以て地方福祉の増進に努め其一度桂冠して故山に歸るや明治廿三年衆望を一身に集めて初期の衆議院議員に當選し其間道路の開鑿に鐵道電信の敷設に地方開發に寧日なく所謂黎明時代の磐城地方はその産業方面たると經濟方面たるとを論ぜず一に翁の手によりて常にその新生面を打開せられた翁は更に地方の炭田を開發し以て地方百年の大策を樹立すべく明治三十六年五月滋澤榮一、淺野總一郎氏等と謀り磐城炭礦株式會社を創立してその取締役に就任し鋭意籌策常磐海岸線鐵道の敷設を促進し其輸送を圓滑敏捷ならしめ地方に於ける石炭輸送上に一世紀を劃したる功績に没すべからざるものあり更に二十八年松方正義、川崎八右衛門氏等と入山探炭株式會社を創立して取締役に就任し更に常磐炭界躍進の基を作り盡瘁敢て倦まざりしが廿九年更に地方最初の金融機關として株式會社磐城銀行を創立して自ら其の頭取となり地方産業の伸展に資し次で三十六年北漸して好間炭礦株式會社を創設する等現今磐城炭田に於て一ヶ年數百萬噸の出炭を見つゝあるの殷盛は之れをこごとく氏の功績に歸せざるべからず大正十四年功により勳四等瑞寶章を授けられた斯して所謂功成り名遂げたるの翁は勇前代議士縣農工銀行頭取博之氏以下敬愛の裡に圍繞せられ悠々自適の晩年を樂みつつあるの時この訃に接す郷黨後進何れもその長逝を悼んでゐる。

晴れの女子庭球戦

磐城高女優勝す

福島高女コートにて

昨九日午前十一時福島高女等女學校庭前氣つかかれた昨夜の雨全く晴れ秋風吹き渡りて絶好の運動日和に選手は勿論ファン連を喜ばしめ一發の祝砲高く揚がれば福島高女子師範軍が優勝旗を先頭に參加校九校二十七名が拍手に迎へられて入場し會長相馬友次郎氏が開會の挨拶を述べ續いで大久保學務部長祝詞あり午前十一時半いよいよ縣下女子庭球大會の幕が切つた落されたA B コートの決戦を終りて福島師範と磐城高女の

決勝戦となり四對三、磐城高女の優勝となりて優勝旗は同校の手に歸した

白井翁葬儀

日取決定す

別項記載の如く昨九日東京に於て逝去したる白井翁の遺骨は来る

十二日午後一時五十分六分下り列車にて平驛着十五日平町紺屋町白井邸で葬儀を営むことに決定した。

平署の刑事と偽り

酌婦を連出して

新川畔で強姦す

去二日宮城縣刈田郡白石町署刑事であるとして同署に連行され時平町柳町無職鈴木行を索め新川畔方面に連れ又三郎(三)は同町南町料理行の風紀を紊す行動に出で店林家事林すい方抱締根た事平署に發覺され同日逮本アキ(七)が同町二丁目を捕餘罪ある見込みで嚴重取徘徊中を押へ付け自分は平調中である

本社閉鎖の風聞を聴いて

品川白煉瓦従業員怠業

品川白煉瓦株式會社本態に入り仕事を爲す者は殆赤井の各工場は東京本社のごく各所に集まつて種々事業不振に依つて来る二十對策を協議するところあり五日を限り閉鎖すること相當重大化する模様此の程に内定してゐるのを聞いた關東合同労働組合主事細谷ので俄に騒ぎ出し従業員數松太郎氏は來郡して状況を百名は八日來何れも怠業状態に亘り調査の上八日引

縣社の斧始祭

築工事は愈々着手する事と

なり十日午前十時同社殿に於て新始祭を執行したが佐藤助役其他參列した

梨果品評會

日取決定す

石城郡農會の主權になる第二回梨果品評會に即買會は来る十二日より三日間平町元郡會議事堂に於て開催し十五日午後一時から褒賞授與式を舉行する筈である

豊間の回春園

改善される

本縣唯一の結核療養所たる回春園の經營に就ては經費の關係上徹底を缺くの憾みあり園長川井醫學士並びに縣衛生課に於ては之れに關し種々

苦心し

來りたるが渡邊衛生課長は着任以來同園の改善に留意し今回昭和三年度の豫算編成をなすに當り川井園長を招きて逐一開園以來の状況を聴取し従來の經營方法に缺陷ありしを認め改善案を樹て、來る可き縣會に臨むこととなりたるがその案の内容を聴くに從來の自費患者は一度入園料二圓五十錢にて相當資力あるものに非ざれば長入園治療に堪はず縣に於て入園料を減額して入園せしめ得るもの僅に一日二名に過ぎざりしが

青年大會

第二方面

昨日小名濱港に本郡教育會第二方面即ち小名濱町外一町三ヶ村の青年團秋期總會は昨九日午前九時から小名濱小學校講堂に於て開會せり團員五百有餘名西山聯合團長の開會に次いで詔書の捧讀式あり縣社會課安部主事の講演があつて午後一時からは同校庭前に於て種々の運動競技に青年の血を湧かかじめ大盛會の裡に午後四時閉會した

石城双葉桑園

指導員協議會

本縣蠶業取締所久ノ濱出張所主催石城双葉兩郡桑園改良指導員協議會は九日午前十時から平町元郡會議事堂に開會久ノ濱出張所主任酒井技手議長席に付き右の件に付き審議する所があつた

運の勢

十月十一日
火曜定
赤口 室宿
●一白の人人の上に立てば一倍の勞苦を身に覺ゆる日
●二黒の人人上下に謀り一致せし所によりて活動すべし
●三碧の人人殺伐の氣を押し口を慎め何事も吉き日
●四緑の人人進め勇氣充つれば矢玉の雨も恐るに足らず

醫藥分業に就て

醫藥分業の理

●五黃の人心定まり内整へば出來事憂ふるに及ばず
●六白の人實直に勵めば染病に染る者少くして
●七赤の人盲進には危険伴ふ運ひは遅くも徐々が幸
●八白の人條理正しく細心の爲に方針を曲ぐべからず
●九紫の人長堤の蟻の一小穴よりゆるることあり注意

醫藥分業に就て

●一、醫學分業とは醫師と藥劑師との生活上の論争ではないが、病氣に罹つた患者の利益を考慮して、醫師の診断を受け、藥劑師の調製を受けるべきである。これは、醫學と藥劑學の両方から見た場合に、最も合理的な解決法である。

●二、世界の文明國は、皆醫學と藥劑學を分業して、醫師は診断と治療を、藥劑師は調製と供給を、それぞれ専門的に従事して、患者の利益を最大限に確保している。

●三、我國は、かつては醫藥不分業の體裁が長く、醫師が調製も兼ねてきた。これは、患者の利益を考慮せず、醫師の私利私欲を優先させた結果である。これを改め、醫學と藥劑學を分業し、それぞれ専門的に従事させるべきである。

醫藥分業の理

●四、醫學分業の理は、患者の利益を第一とするものである。醫師は、患者の病氣を診断し、治療法を決定する。藥劑師は、醫師の指示に従って、薬を調製し、供給する。これは、患者の利益を最大限に確保するための最も合理的な解決法である。

●五、醫學分業の理は、社會の進歩と発展を促進するためのものである。醫學と藥劑學を分業し、それぞれ専門的に従事させることで、醫學と藥劑學の両方の技術が向上し、患者の利益が確保される。これは、社會の進歩と発展を促進するための最も合理的な解決法である。

醫藥分業の理

●六、醫學分業の理は、醫學と藥劑學の両方の専門性を高めるためのものである。醫學と藥劑學を分業し、それぞれ専門的に従事させることで、それぞれ専門的な知識と技術を身につけ、患者の利益を最大限に確保することができる。これは、醫學と藥劑學の両方の専門性を高めるための最も合理的な解決法である。

●七、醫學分業の理は、醫學と藥劑學の両方の責任を明確にするためのものである。醫學と藥劑學を分業し、それぞれ専門的に従事させることで、それぞれ専門的な責任を負うことができる。これは、醫學と藥劑學の両方の責任を明確にするための最も合理的な解決法である。

醫藥分業の理

●八、醫學分業の理は、醫學と藥劑學の両方の利益を確保するためのものである。醫學と藥劑學を分業し、それぞれ専門的に従事させることで、それぞれ専門的な利益を確保することができる。これは、醫學と藥劑學の両方の利益を確保するための最も合理的な解決法である。

●九、醫學分業の理は、醫學と藥劑學の両方の協力を促進するためのものである。醫學と藥劑學を分業し、それぞれ専門的に従事させることで、それぞれ専門的な知識と技術を共有し、協力を促進することができる。これは、醫學と藥劑學の両方の協力を促進するための最も合理的な解決法である。

宇佐美藥舖

平町田町
電話五五一番